

かしわ



No.21 平成 30 年 2 月 20 日 玄関のおひな様

1 月の学校の様子

校長 北村 耕一

新年になり早いもので2カ月が過ぎようとしています。本校では一月に様々な行事が開催されました。その様子を報告します。

校外学習「マリンパーク見学」

幼稚部 最上 裕美

1月30日(火)幼児を隊長にマリンパークに行きました。三崎口からのバスがマリンパーク前で止まるようになり、時間にも余裕ができました。

タッチプールでは、去年は怖くて触れなかった「サメ」に触れました。「サメは、つるつるかな？ざらざらかな？ふわふわかな？」と事前学習を思い出しながら、感触を楽しみました。イカ・アシカショーでは、アシカのピアノに合わせ、イカが歌いました。曲目はかしわ祭の思い出の「小さな世界」。幼児は、じーっと見聞きしていました。サメ、カニ、フグなどを見つければ水槽にくっついて見せていました。



お母さんが作った、愛犬「けん」の顔のおにぎりやにこにこ食べました♪楽しいお菓子交換でまた元気になり、「かわうその森」を通って帰途につきました。先生達が売店で「おもちゃが欲しい」「何か食べたい」と言うと、隊長が「勉強だから、がまん」と言ってくれました。頼もしい隊長を1日がんばってくれました。

書き初め & 百人一首・歌留多大会

高等部 渡邊 豊、中学部 宮前こずえ

1月11日(木)、中・高等部の書き初め大会と、百人一首・歌留多大会が開催されました。いざ書き初めが始まると、生徒は皆真剣そのもの。大きな半紙に向かって、体全体を使い、元気良くカー一杯に大筆を走らせました。墨で手を真っ黒にしなが



らも、各々が選んだ四字熟語を立派に完成し、練習の成果を発揮することができました。ちなみに、中1は「一日千秋」、中2は「山紫水明」、高2は「以心伝心」、高3は「誠心誠意」を選びました。4人の作品は、職員室前の廊下に展示してありますので、是非ご覧ください。百人一首・歌留多大会では、卒業生が特別ゲストとして登場し、もと高等部の女性名人としての貫禄と腕前を存分に披露してくれました。中・高の生徒に混じって参加した、小学部5年生と6年生も「ちはやふる」のゲームに乗って大いに健闘し、沢山の札を獲ることができました。歌留多の男女団体戦や担任と生徒のペア対決等、白熱した戦いで大いに盛り上がり、最後はエキシビジョンマッチで、卒業生と元担任との新旧女王対決。僅差で卒業生に軍配。そして、先輩から受け継いだ「大判札」の百人一首に全員が参加し、本校の長い歴史と伝統の重みに触れることができました。

子どものためのきこえやことばの 相談会を終えて

ことばの教室 石崎龍介

「子どものためのきこえとことばの相談会」を1月28日(日)に横須賀市総合福祉会館で開催しました。

本校からいまの横須賀市総合福祉会館に場所を移し、対象を18歳までに絞った相談会の形になったのが2010年度にスタートし、今年で8年目になりました。こうなる前の15年ほど前の時代には「耳の日相談会」として、国立特別支援教育総合研究所の蒼々たる専門家の先生達がいらしていたのに、集まるのは「老人性難聴」で困っていらしたご高齢の方たちのみでした。たまに子どもをつれた親子が複数いらっしゃると、「今日はすごいですよ、2名も難聴の子どもが来ましたから」と歓声を上げるばかり…。

それがいまは、毎回10名以上の子どもの相談予約をかかえて、当日も2、3名の飛び込みの子どもたちを受け付けて、午前中はフル回転の盛況ぶりです。しかも昼食の時間帯には、その研究所の先生を講師に聴覚障がい児の子育てに関わる講演会を開くので、本校や通級の保護者も一緒に参加されて、教員も入れて50人程度の方々が集まっています。

この相談会について参加者アンケートからは、「思い切って来てよかったです。周りになかなか相談しにくかったので良かったです」「こどもが緊張しないような雰囲気を作って頂いたり本人もとてもリラックスすることができたようで大変助かりました」と、一人悩まれて

連れてこられおとされたお母さんがた。また、「自分が持っている情報や考え方について、再度考え直してみようと思いました。本人の様子をもう少し観察しようと思いました」「子供の気持ちを表現する手段は言葉だけではないと考えさせられた」などなど、子どもの理解を変えたり深められたりした方もいらしたことが分かります。



こうしたことから、三浦連合耳鼻咽喉科医学会や国立特別支援教育総合研究所、横須賀市療育相談センター、横須賀市教育委員会のお力を借りながら、今後も聴覚障害の特別支援学校としてのセンター的機能の役割を發揮する大切な機会として継続していきたいと思っております。

お知らせ

これまで、横須賀市立小・中・特別支援学校では、「離退任式」を新年度に行ってきました。しかし、年度初めの大切な時期に異動者が赴任先での教育活動に関われない状況が生ずるなど、さまざまな課題が挙げられていました。

こうした状況を踏まえ、今年度より、「離退任式」を年度内(修了日)に実施することといたしました。急な変更で申し訳ありませんが、保護者・地域の皆様におかれましては、どうかご理解・ご協力のほどお願い申し上げます。

詳細につきましては、3月20日ごろ連絡させていただきます。なお、管理職等に関わる離任者と市費職員の離任者につきましては、人事上の関係で4月6日

(金)に実施する予定です。